

# その「いいね！」本気？

## ～理解すること・共感すること

「うんうん、そうだね。」  
「あなたの気持ちは、よくわかるよ」

を考える～

インターネットが普及し、多くの人々が、当たり前のようにメールやSNSを利用するようになった現代。  
若者だけに留まらず、画面の向こうにいる誰かが自分のメッセージにリアクションをしてくれることは、現代人にとってとても重要な事柄になっています。

なんていうと、単にフォロワーの数こそが社会的ステータスだというように聞こえるかもしれませんが、ライフ・スタイルが細分化し、多様な個性の在り方を尊重することが求められる今日。

共感する人や理解してくれる人がいることの重要性は、益々高まってと言えるのではないのでしょうか？

一方、そうであるが故に、煩わしいと思いつつ、とにかく人間関係を無難に収めるために嫌イヤ「いいね！」ボタンを押してみたり。

中には、既読スルーが原因で事件にまで発展してしまうケースも。

一体私達が求めている＜共感＞や＜理解＞というものは、何のために必要なものなのでしょうか？

それは私たちに、何をもたらしているのでしょうか？

果たして＜共感＞と＜理解＞はどのような違いをもつものなのでしょうか？

賛同や同意とは違うものなのでしょうか？

＜共感＞すること、＜理解＞することの「そもそも」を考えてみたいと思います。